

確かな学びと豊かな心・健やかな体をはぐくむ 学校力向上プラン【学校評価評価書】

中学校区におけるめざす子ども像 自分も人も大切にできる子どもたち 主体的に考え行動できる子どもたち ～「時を守り 場を清め 礼を正す」ことを通して～

令和7年度 重点目標

- ◎人材の育成 : ○J Tを通して(学校全体) ○学習規律の構築と、人権教育の推進(全学年) ○いじめや不登校の未然防止と、学びの機会の確保(全学年) ○健やかな体の育成と、子どもの安全確保(全学年)
- ・『根拠をもって伝える力』の育成と、ICTの効果的な活用の研修(研修委員会) ・人権意識を高め、多様性を認め合える人間関係の形成(研修委員会) ・暴力やいじめを許さないという、人権意識や規範意識の醸成(生活指導委員会)
- ・いじめ不登校対策委員会での、組織的な早期支援体制の実践(生活指導委員会) ・狭い運動場での工夫した持続可能な体育・保健教育活動の実践(保体給委員会) ・安全教育・防災教育・食育指導の推進と、安全が担保される環境整備(保体給委員会)

「確かな学び」の現状

令和6年度の「全国学力・学習状況調査」および大阪府の「すくすくわか」の結果からは、比較的安定した学力が定着していることが確認できた。しかし、根拠をもって、自分の言葉で思いや考えを伝えるという点では未だ課題が見られる。また「学びのコンパス」の理念実現のため、学びを深める姿の共通理解を図る必要性が高まっている。そこで、今年度の研究主題を「自分の考えや思いを根拠をもって伝え合うことができる子どもの育成～伝え合うことで学びを深める姿をめざして～」とし研究授業を行い、実践を通して検証を進めていく。公開する場面は、教科を固定せず主題に沿った提案が最も効果的に表れる授業場面で行う。このような取組を通して、より「確かな学び」の定着を図っていききたい。

「豊かな心・健やかな体」の現状

本校の学校教育目標は「学び合う子 助け合う子 たくましい子の育成」である。高い人権意識を醸成するためにも「相手の立場を思いやり、豊かな心や秩序を重んじる」「社会性を身につけるための規範意識の育成を進める」「いじめを許さないという人権意識の醸成」を中心に指導を行う。豊かな心の育成に必要な不可欠なのは、いじめや不登校の早期発見・早期解決である。指導の重点として①積極的な生徒指導と不登校対策委員会の積極的な活用、②不登校(傾向のある)子どもへの学びの機会を確保、③非行防止・犯罪被害防止教室など堺少年サポートセンターや警察署との連携、の3点を掲げ実践していく。「みんなく」「体力向上」についても、生活習慣へ働きかけ意識を高めていく。

大項目	中項目	具体目標	具体的な取組 (●重点とする取組 ★中学校区での取組)	判断基準 (評価のものさし)	評価方法	評価時期	進捗確認 (～10月)	達成状況(年度末)	
								自己評価	学校関係者評価
確かな学び	ICT	ICTを活用した各学年で定められた情報活用能力の知識及び技能の習得	ICTを活用した学習展開の工夫をめざし、研修や授業研究に取り組む	・「タブレットを活用した授業ができる」の肯定的評価80%以上	教員アンケート	12月			
			児童1人1台の活用推進のため、情報活用能力や情報モラルを育む授業を実施する	各学年での目標について「できている」の肯定的評価80%以上	学校教育アンケート	12月			
	人権教育	相手の立場にたって自ら考え、行動できる児童の育成	全学年で系統立てた道徳と人権の授業を行い、どの子も安心して学校に通えるように、相手を思いやる気持ちを涵養する	「人の気持ちが分かる人間になりたいと思う」の肯定的評価85%以上	学校教育アンケート	12月			
	授業づくり	自分の考えや思いを根拠をもって伝えることができる児童の育成(小中一貫グラブデザインに基づく)	●★低・中・高学年ごとに定めた伝える力の目標をめざした授業研究に取り組む	「児童が自分の考えを伝えられるように指導方法の工夫を行った」の肯定的評価80%以上	教員アンケート	12月			
			★話し方・聞き方の型を用いて伝える力の基礎の定着を図る	「クラスやグループ・ペアで話すときは、自分の考えを伝え、友だちの意見もしっかり聞いている」の肯定的評価80%以上	学校教育アンケート	12月			
			★学校生活全体を通した「伝える場」を設定し、伝える習慣をつける	「学校生活の中でクラスやグループ、ペアで話すことができた」の肯定的評価80%以上	学校教育アンケート	12月			
豊かな心	豊かな人権意識	一人ひとりを尊重し、温かい人間関係づくりができる児童の育成	いじめについての正しい知識をもたせ、生活のなかで活かせるようにさせる	「いじめられている子を助けたいと思う」についての項目で肯定的評価80%以上	学校教育アンケート	12月			
	規範意識	自分も他人も大切にし、率先してあいさつができる児童の育成	●学校のきまりを職員全員が共通理解し、児童に発信することにより、規範意識の醸成を図る 教師の率先垂範とあいさつ週間の充実により、あいさつの励行を進める	「学校のきまりを守っている」の肯定的評価80%以上 「学校で先生や友だちに自分から進んであいさつをしている」の肯定的評価80%以上	学校教育アンケート	12月			
健やかな体	健康な体づくり	健康な体づくりを主体的に考え、実践する子どもの育成	●栄養教諭と担任等が連携して食育を行い、食の大切さを知らせ、朝ごはんの定着と給食の残量減をめざす	学校教育アンケート(保護者)「あてはまる」85%以上 1学期より残量を減らす	学校教育アンケート	1月 6月・11月			
			児童一人ひとりが個々の課題を知り、自ら実践する力を育成するために「おうち体育」を進める	「おうち体育を使って、体力づくりをしている」の項目での肯定的評価80%以上	学校教育アンケート	1月			

校長より(年度末)

学校関係者評価者から(年度末)